

KYTの狙い

ヒューマンエラー事故防止のために、短時間ミーティングの中で、作業の中に潜む危険を発見、把握、解決して作業者の

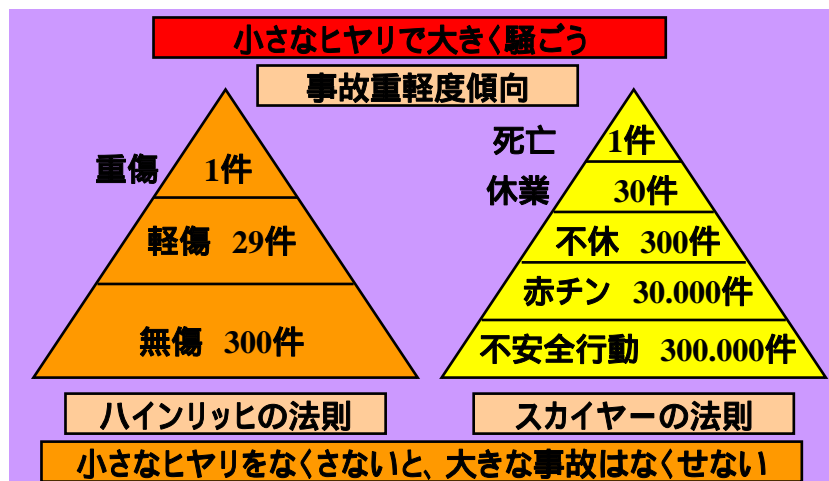
- 「危険に対する感受性」
- 「集中力」
- 「問題解決力」
- 「実践への意欲」

（危険を共有化し、対策を潜在意識に植えつける）

向上させる

CHUOKAGAKU

ヒヤリハット活動



CHUOKAGAKU

三現主義

現場、現物、現象を見る

現場で、現物を見て、現実的に対処する

- ・危険に対する感受性が鋭くなる
- ・危険に対する勘が働く
- ・対応する良いアイデアが出てくる

得られる情報量 現場)話を聞く・レポートを見る等
現場は、末端ではなく、新しいものを常に生み出している、第一線、最前線である

まず現場に出て見て足で考える習慣を身に付ける！



リスクアセスメントの考え方

リスクアセスメントとは

事業所のあらゆる危険有害要因を洗い出し

それらのリスクの大きさを見積もり、評価

労働者保護の観点から容認できないものを個別

に明らかにすることを体系的に進める手法

安全パトロール、安全衛生診断、KY活動等も広い

意味ではリスクアセスメントであるが、これらの経験的な活動に対し、体系的、論理的に進める点に特徴があります



リスクアセスメント導入の効果

(直接効果)

- ・職場のリスクが明確になる
- ・職場のリスクを管理者を含め職場全員で共有
- ・安全対策を合理的に優先付けできる
- ・作業者の意見が反映され費用対効果上有効対策の実施
- ・残されたリスクに対して守るべき決め事が明確になる
- ・管理監督者にとって安全衛生の説明責任をかなえられる
- ・安全配慮義務の携行が出来る



$$100 - 1 =$$

たった1つのミスで、それまでの努力がゼロになる
 $100 - 1 = 99$ ではなく 0である

何年・何十年、何百回、何千回と正しい操作、
正しい行動を行っていても、たった1回のミス
で今までの努力が無駄になってしまう

ミスは組織、人、設備、作業方法どこにでも生
じる事である

